



2008.9

TIA ニュース VOICE

No.32

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会



セント・ピーターズバーグ市 相互国際交流活動



今年も高松市の姉妹・友好都市への派遣・受入事業を通して、多くの市民が交流を図りました。中でもセント・ピーターズバーグ市(以下セ市)とは、セ市の市長が高松に訪問したり、また高松市内の高校生2名をセ市に初めて派遣する新しい事業をスタートさせたりと、更なる相互交流を実現することができました。

6月29日～7月22日、セ市から2名の親善研修生スージー・ノウルズさんとデヴィン・ワトソンさんが来高。ホストファミリーの家庭で滞在しながら、高松市立第一高等学校に2週間通学し、日本の生活・文化を体験しました。

7月2日からの5日間は、セ市からリック・ベーカー市長をはじめとする訪問団10名が来高。市内の各施設を視察したり、4日の玉藻公園披雲閣で開かれたセ市主催答礼宴では、大勢の関係者が集う中、ベーカー市長自らギターで歌を弾き語ったり、製菓を学ぶ親善研修生によるケーキ装飾が披露され、アメリカ独立記念(7月4日)と両市の今後の姉妹都市交流のさらなる発展を祝いました。

8月1日には、セ市へ姉妹都市親善研修生第1期生として和田沙江子さん、太田雅己さんの高校生2名が出発しました。セ市を拠点とするメジャーリーグのレイズ球団で活躍中の宇和島市出身岩村選手からの資金提供と相互派遣の提案が発端となり、今年より高松市からの親善研修生の派遣が実現しました。2人は、現地のサマープログラムに参加、レイズの観戦やホストファミリーや人々との交流を通し、大変貴重な体験をしたのち、15日帰国しました。

※その他の都市との交流内容は次ページをご覧ください。10月にはニュージーランド、ネイピアより男子高校生10名、引率先生2名のホームステイの受け入れが決まっております。



INDEX

- ★セント・ピーターズバーグ相互交流
- ★ホームステイ事業
- ★中学生訪中親善使節団
- ★外国人のど自慢お国自慢大会
- ★国際交流団体情報交換会
- ★高校生親善研修生からの一言メッセージ
- ★国際交流おどり子連
- ★トウール市姉妹都市提携20周年事業
- ★高松市内国際交流団体紹介
[香川ISGG(香川善意通訳の会)]
- ★インフォメーション
- ★編集後記

20 今年
高松市と
フランスの
トウール市が姉妹
都市提携を結んで
20周年を迎える
記念の年です。



今夏、カムチャツカ国立大学より9名の女子学生の訪問団が来高しました。ウラジオストックから新潟を経由して二日間の長旅ですが、今年で3回目の訪問になります。

訪問団は一ヶ月間高松に滞在し、穴吹ビジネスカレッジにて日本語研修を受けました。また、7月19日から22日にかけての2泊3日、当協会で開催したホームステイ・プログラムに参加し、地元の人々と交流することができました。ロシアでは日本のように一日三回食事をする習慣がなく日本人よりも小食であることなど、お互いの食文化の違いに驚いておられました。ホームステイでの異文化体験を通し、より活発に日本語でのコミュニケーションを図れるようになりました、と穴吹ビジネスカレッジより喜びと感謝の言葉をいただきました。

第16回 中学生訪中親善使節団

今年も第16回中学生訪中親善使節団18名(生徒15名、引率3名)が、3月29日から4月3日までの6日間、上海・南昌・北京の3都市を訪問しました。

中国のスケールの大きさ、車のスピード、豪華な食事、南昌での熱烈歓迎、長い長い万里の長城、どれもが驚きと感動の6日間。

友好都市南昌市では、市政府表敬訪問をはじめ、南昌市第二十八中学校との交流会、そして2泊3日のホームステイを体験しました。緊張の連続の中でも生徒達は元気いっぱい!様々な体験を通して成長し、無事に高松へ帰って来ました。この経験を今後に大いに役立ててくれることを期待しています。

※団員達の体験談・感想を報告書にまとめています。ご希望の方は当協会事務局までお問い合わせ下さい。



外国人

のど自慢
お国自慢

大会

7月27日(日)、サンポート高松小ホールにて、第12回外国人のど自慢・お国自慢大会が開催され、総勢7カ国から49人が出場しました。今年は、NHKのニュースで本大会の様子が全国放送され、瀬戸内海放送では出演者2名をクローズアップした特集が放送され、大きな反響がありました。

のど自慢大会は、表現力・歌唱力・日本語力を基準に審査、各賞が授与されます。今回は、フィリピン出身の尾崎シャーリーさんが「蝸(ひぐらし)」でこぶしの利いた本格的な演歌を披露し、最優秀賞を受賞。「プロ歌手に負けないほどの歌唱力。情感たっぷり、心に迫る歌でした」との講評を受けました。また、優秀賞として姜 鎬慶(カン・ホキョン)さん、林 大熙(イム・デヒ)さん、他準優秀賞として、3名が受賞。惜しくも受賞を外れた方々も劣らぬ歌唱力で観客を魅了しました。

お国自慢では、出身国独自のパフォーマンスや伝統の踊りなどで、国の文化を紹介します。今年は、ミャンマーのダンス、フィリピンのバンブーダンス、中国の太極拳などが

▼中央経済振興事業共同組合理事長賞「タクトモー」



披露されました。高松ライオンズクラブ会長賞に、中国の研修生による手話入り歌、「感恩の心」が輝きました。また、今年より中央経済振興事業協同組合理事長賞が設けられ、香川大学留学生グループ「LOTUS」によるベトナムの踊りと、トーカイ研修生によるフィリピンの踊り、タクトモーの2組が受賞しました。ホールはほぼ満席となり、大盛況に終わりました。



▲最優秀賞
尾崎シャーリーさん



▲優秀賞
林 大熙さん



▲高松ライオンズクラブ会長賞「恩恵の心」



▲優秀賞 姜 鎬慶さん



▲中央経済振興事業共同組合理事長賞「LOTUS」

平成20年度
第1回 高松市内「国際交流団体」
情報交換会

一年に2回行われる情報交換会が、6月17日(火)に開かれ、高松市内の国際交流団体のうち15団体17名の代表が、各団体の行事内容や今後の国際事業の予定をそれぞれ紹介しました。

その後のフリートークでは主に、各団体の運営方法、活動方法について話し合わせ、アイデアや情報を共有する有意義な時間となりました。

各団体の行事予定はTIAのホームページに記載してありますので是非ご覧下さい。また、新しい情報がございましたら当協会までご連絡下さい。



セント・ピータズバーグ市派遣
高校生親善研修生からの一言メッセージ



高松高校2年 和田紗江子

沢山の出会い、溢れる幸せ、夢のような時間、そして最高の夏をありがとう。St.Petelに行って本当に良かったです!



たくさんの出会いがあり、とても楽しく内容の濃い研修でした。お世話になったみなさん、本当にありがとうございました!



高松高校2年 太田雅己



◀出発前の理事長表敬訪問

高松まつり

国際交流おどり子連



今年も高松まつり最終日の8月14日(木)に総躍りが行われ、当協会から外国人49人(中国・ベトナム・ロシア・ブラジル・韓国・パラグアイ・カナダ・バングラデシュの計8カ国)、日本人41人の計90人で参加しました。「国際交流おどり子連」は、夏の風物詩である「まつり」を在住外国人の方と市民が共に楽しみながら国際交流を図れるように編成した連です。

外国人の方たちは浴衣を着るのが初めての方がほとんどなので、着慣れず苦しそうな場面もありましたが、汗を流しながらも一生懸命に演舞。振り付けの先生からも、「今年のメンバーは元気があって良い!」と、お褒めの言葉を頂きました。

今年の高松の夏は、雨が全然降らず、連日猛暑の毎日。暑中、参加者が減少するかの不安もありましたが、蓋を開けてみると、多くの方に参加いただき、元気いっぱい楽しく踊りを披露。充実した一日となりました。沿道からの温かい声援を受け、中央通りを約1時間、2008年夏の良い思い出が一つ増えました。皆さん本当にお疲れ様でした!

※練習・本番のドリンクは、ゆめタウン高松より提供いただきました。ありがとうございました。



地域の医療・福祉の分野に貢献したいという熱い思い



私たち株式会社トーカイは、お客様のニーズにしっかりお答えし、お客様に愛される企業であり続けたい、地域に貢献している企業であり続けたいと願っております。

 株式会社 トーカイ
TOKAI

〒761-8555 高松市鶴市町2025-3
TEL 087-881-8003
<http://www.to-kai.co.jp>



高松市・トゥール市姉妹都市 提携20周年 記念事業

高松市とフランスのアンドル・エ・ロワール県の県都・トゥール市は、20年前の1988年（昭和63年）に姉妹都市提携を結びました。トゥール市はフランスの庭と呼ばれ、古城めぐりの拠点ともなっている人口約13万人の美しい町です。調印式は6月3日にトゥール市、10月21日に高松市で行われ、以来、訪問団の派遣、トゥール美術館展の開催、フランス宮廷音楽合唱団の高松公演、行政研修生・短期エステ研修生の受け入れ、市民グループによる生花の交流や桜の記念植樹などを通して両市間で多彩な交流を行ってきました。

今年、姉妹提携20周年を迎え、両市間では下記のとおり沢山の記念事業を行うことになっています。

● トゥール市への市民親善訪問団派遣

日 程：平成20年10月22日～29日（8日間）

派遣先：フランス共和国 トゥール市ほか

団員数：30人

● トゥール市公式訪問団受入

姉妹都市提携20周年を記念して、トゥール市公式訪問団を受け入れ、記念式典をはじめ、施設視察や記念植樹（11/20）参加等を通して友好親善を深める。

受入時期：平成20年11月下旬（予定）

● 在大阪・神戸フランス総領事による記念講演会の開催

日 時：平成20年11月20日（木）午後

場 所：サンポート高松第1小ホール

● 記念パネル展

トゥール市との姉妹都市関係の歴史やトゥール市の風景写真パネルや、両市青少年等による書道絵画などを展示する。

期 間：平成20年11月下旬

場 所：市役所1Fロビー



国際交流団体 紹介

香川SGG(香川善意通訳の会)

香川SGG(香川善意通訳の会)は、1994年11月に香川県を訪れる外国人に、言葉の上の障害や不便をなくして、少しでも香川県や日本についての理解を深めてもらい、そして良い印象を持ってもらって国際交流を推進しようという目的で設立されたボランティア通訳の集まりです。

活動内容は週末の栗林公園での善意通訳活動を中心として、企業や団体への通訳の派遣、国際親善事業やかがわ国際フェスタへの参加、高松港寄港の外国船での通訳活動等を行っており、日本政府観光局(JNTO)より優良善意通訳団体として、また毎年「小さな親切運動」香川県大会で表彰を受けております。

昨年11月には高松港に寄港したアメリカ海軍のフリゲート艦の乗組員(将校を含む)十数人を栗林公園に案内し、抹茶を楽しんだり、習字を教えたり、折り紙を折ったりして親善を図り大変喜ばれました。また昨年12月から今年3月にかけて延べ5回高松生涯学習センター(まなびCAN)において、「外国人から見た香川(高松)の印象について」と題して外国人から直接市民の皆様へ英語でスピーチを聞いていただく機会を作り、多くの市民の方々に参加をいただきました。今年も引き続き12月から来年の3月まで同じ要領で講座を開く予定にしています。

さらにメンバーの語学力や知識の向上を目指して、毎月外国人を講師に招いての「国際理解講座」や、ボランティアガイドのスキルを上げるためメンバー同士で英語を使っている「月例勉強会」を開いています。

2008年8月現在のメンバー数は56名(男女ほぼ同数)で、多くの方が英語や中国語等を使ってボランティアガイドを楽しんでいます。国際交流の推進や国際観光事業への支援などに関心があってボランティアガイドをやってみたいと思われる方のご参加を心からお待ちしております。



TIAの今後の主な事業予定

- 10月** 10/3(金)～10/8(水) NZネイピア男子高校生ホームステイ受入
10/5(日) かがわ国際フェスタ2008(アイパル香川・中央公園)
10/22(水)～10/29(水)
高松市・トウル市姉妹都市提携20周年記念
市民親善使節団訪仏
- 11月** 11/13(木) 国際交流団体情報交換会(アイパル香川)
11/19(火)～11/24(月)
高松市・トウル市姉妹都市提携20周年記念
トウル市公式訪問団受入れ
(11/20(木) 20周年記念式典(講演会)/
サンポート第一小ホール、記念植樹/中央公園)
- 1月** 1/11(日) さぬき国際交流お正月会(アイパル香川)
1/25(日) 春節友好交流会(アイパル香川)
- 3月** 3月末 第17回中学生訪中親善使節団派遣

詳しい日程が決まり次第、TIAのHPやパンフレット等でご案内しますので是非ご参加下さい。



当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録してください。

英語併記の地図を活用してください!!

Life Navigator TAKAMATSU

高松市内はもちろん、高松近郊も入った便利な地図です。観光名所、文化施設、病院などはもとより、高速道路や温泉、八十八か所のお寺など情報満載です。

外国人:無料/日本人:100円



「7ヶ国語会話集」 「国際交流活動の手引き」 好評発売中!

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら? 「なんて言えばいいの?!」答えはこの2冊の中から見つかります。それぞれ1冊、500円で販売中です。



参加費無料

毎週日曜「日本語サロン」

13時～17時 アイパル香川3F

日本語を楽しく勉強しませんか?
ボランティア講師が皆さんの参加を待っています^^

国際交流団体への 助成金制度のお知らせ

平成20年度

当協会では高松市内の国際交流団体が自主的に企画、実施する国際交流事業に対する後援および事業費等の助成制度があります。

- ①後援:名義後援
- ②事業費助成

対象:市内および姉妹・友好都市での国際交流事業
事業費三分の一助成
限度額10万円

※申請を受け付けた後、協会にて審査し結果を通知することになります。

外国人私費留学生への 国民健康保険助成について

平成20年も、高松市内に在住する私費留学生全員に国民健康保険料の一部を助成しています。詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。

編集後記

水不足



今年は、梅雨明けが平年に比べ約2週間早かったことに加え、その後もまとまった雨に恵まれず、深刻な水不足になり、8月21日からは市民プール(市営八プール)が休場になるなど家庭生活や社会活動に大きな影響が今なお続いています。

高松市では、1973年に高松砂漠と呼ばれた大渇水があり、その翌年に香川用水を通水。しかしその後も1994年、そして2005年と、大渇水に見舞われています。

高松では、おおよそ10年に一度の割合で深刻な渇水が発生していると言われています。更に、地球温暖化が進むと少雨・渇水や豪雨・洪水などの現象が起こり易くなることも指摘されています。

日頃から節水していると思いますが、今一度、水の使い方を見直しましょう。

a.s